

[第 178 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

2026 年 9 月吉日



- ・ 主 催 NPO法人高島藤樹会
- ・ 日 時 2026 年 10 月 3 日 (土) 15時～17 時
- ・ 場 所 藤樹神社社務所(高島市安曇川町上小川69) ☎0740-32-0638
(※安曇川公民館が先約済みのため変更いたします)
- ・ テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.275～
- ・ 塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)
- ・ 参加費 無料(予約不要・どなたでも歓迎)
- ・ 懇親会 17 時 45 分～ 場所 ウエストレークホテル可以登楼 ☎0740-32-3131
参加費 5,000 円★参加いただける方は、9/27 迄に田中までご連絡ください。

2026 年 9 月 12 日(土)、安曇川公民館で第 177 回「藤樹人間学塾」を開催しました。今回は京都から 1 名、大津から 2 名を含め、5 名(うち女性 2 名、初参加 1 名)の道友が集まり、濃密な学びのひとときとなりました。

■ テキスト 『中江藤樹・熊澤蕃山』(中公バックス 日本の名著 11) 「集義和書」巻十二 義論の五(治国・平天下の要、人材の選び方)を輪読し、参考資料も交えて解説しました。

■ 今日の学び

【治国・平天下の要】国や天下の平和を乱す根は「不仁(思いやりのなさ)」にあります。だからこそ、その災難を救う術を知る優秀な人材を求めることが何よりの肝要です。

【人材の選び方】『易経』の道理にある通り、高位高禄の子孫は衰えやすく、微賤の中から勇知の人が生まれることが多い。賢人にはその能力に合った地位と役割(時・処・位)を与えることが先務となります。(※補足資料として、9/3 テレビ放映の『カンブリア宮殿』旭化成特集を「人材活用・人財育成」の視点で解説しました)

【積善の家に必ず余慶有り】「禍福はあざなえる縄の如し」のように陰陽は交互に現れますが、積善の家はその例外として持続・発展していきます。

【めざすべきものを持つ / 君子は和して流せず】京セラ・稲盛和夫氏の「謙虚にして驕らず、さらに努力を」という理念や、『中庸』にある偏らない観点(大宇宙の理法)についてと思索を深めました。

■ フリートーキング(参加者の声)

「初めて参加。難しかったが解説が分かりやすく、大宇宙のお話に目からウロコが落ちた」

「座禅して天とつながる話が興味深かった」

「各人の考え方を知り、自分でも考えることはとても面白く有意義だ」

「自由に何でも言える雰囲気ありがたい」

初参加の方も含め、温かく活発な意見交換が行われました。学ぶは愉し！

～人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

